

古文書を読む会学習記録

作成日 平成27年 5月21日

開催日	平成27年 5月14日	時 間	10:00～12:00
場 所	金沢区民活動センター	出席人数	15名
講 師	真田 雅行氏	作成者	鈴木 祥代
テーマ	第一学習 永嶋家文書⑤		
概 要	<p>1. 前回よりの続き・・・去月二十九日未の刻頃、加納備中守様御領分上総国長柄郡一の宮地先より北の方へ五里ばかり沖合に見馴れぬ船が見えたので、御同人様御家中御人数差し出された所、南の方へ乗行凡七八里も遠ざかり帆影もみえなくなりました。また同刻不入斗村地先へ凡三四里も近寄った。三月朔日には帆影も見えなくなったので、阿部伊勢守に伺いしたところ、すべて平日の通りの警固とする様にとのことだったのでこの旨申し渡す。</p> <p>2. 「弘化四丁未年彦根藩井伊掃部頭より相模国御備場之儀に付いての御伺書の写し」を読む。</p> <p>去る3月相模国御備場強化のため三浦郡野火村・長沢村辺より鎌倉郡腰越村辺迄の持場を担当し、追って村替の予定の旨仰せ付けられ、さらに浦賀奉行所お預り所相模国野火村千駄ヶ崎に新規の御台場一ヶ所建設につきその持場を仰付かった。是迄は川越藩松平大和守が一手に御用勤められていたが、向後は掃部頭と大和守両手で引請けるようにとのことである。これについて以下お伺いをしたい。</p> <p>村替については江州・武州・野州の領分は今までの軍功により、権現様・大徳院様・大猷院様より兵部大輔直政・掃部頭直孝が拝領仕った地所で、代々大切に心得ていた所を私の代に至って外御用の為に村替え仰付けられたのでは先祖及び家中に対して嘆かわしく心痛している。相州御備場は大切な場所であるが私家は別格の役柄があり、御固めも仰付けられたのでは出陣の御備とも違う役柄に御用であるから家来及び領民が安心致さぬ場であるので当惑している。松平越中守より関東第一の御備場を仰付けられた上は私丹誠を尽し御用を十分行届様にするが、海岸御備場の手当の為相州江州にて十万石にお預り地を下されれば永く御用を勤めますのでその様をお願いしたい。</p> <p>更に申上げれば、権現様より直孝掃部頭へ御直に仰せ付けられた、西国三十余州藩屏重職そして帝都不慮の守護の義についてはどのように心得ておられるのか、任務には人手もかかることでもあり、忠勤を尽し任務を全うするために腹藏なくご内意をお伺する次第である。</p>		
次回予定	平成27年5月28日	10:00～12:00	於:金沢公会堂 第二学習 ジョン万次郎帰朝記事⑤